

つながりを大切にし、
かかわりを深める児童生徒の育成



ユネスコスクール便り

令和2年3月13日

大牟田市I社スクール
担当者通信

No.88

RCE大牟田 認定式・記念講演

2月27日(木)、ホテルニューガイアオームタガーデンで、「RCE大牟田 認定式・記念講演」が行われ、国連大学サステナビリティ高等研究所長の山口しのぶ様から本市の安田昌則教育長に認定書が授与されました。国連大学RCEは、教育を通して持続可能な未来を築くために尽力している世界の教育機関、NGO、博物館、民間企業、地方自治体等が認定されるもので、大牟田市は今後、国際的なESDの地域拠点としてその期待を担っていくこととなります。山口しのぶ所長様からは、記念講演で、ESDの国際潮流とRCE大牟田への期待についてお話しいただき、RCEとなった大牟田の役割等について理解を深めることができました。

RCE大牟田 認定式・記念



持続可能な社会を創る生徒の育成 松原中学校



1年 福祉学習 1年生では、大牟田の課題である高齢化問題について考えるために、認知症学習や高齢者疑似体験学習、福祉施設体験学習を中心に実践しました。特に福祉施設体験学習では、高齢者の方々や施設職員の方々との交流を通して、福祉における課題を見つけ、自分たちができる解決策を考えながら体験学習を行いました。

2年 地域探求学習 2年生では、1学期に福祉以外の地域の課題を探るために様々な分野に分かれて「地域探求学習」を行いました。そして2学期に環境を中心とした課題解決のための取組を行い、3学期に自分たちで考えた解決策を地域に提言しました。

3年 進路学習 3年生では、2年生で学んだ地域とのかかわりを自分の将来につなげるために、職場体験や高校訪問を通しての進路学習を行いました。職場体験では、仕事に就くまでの進路や地域で働く人の思いを知り、高校訪問では将来の目標達成のためにどんな学習をするのか見通しを持つことができました。



職場体験の様子

特色ある実践事例の紹介

人と有明海がともに生きるために みなと小学校



みなと小学校は海洋教育に取り組んでいます。6年生は三里漁業協同組合の漁師さんに「有明海で獲れる魚の量が減ってきている」現状や、有明海の様子の変化が変化してきていることを伺い、その原因を探りました。

まず、荒尾干潟水鳥・湿地センターを見学し、センター長さんから人間の生活や、山や川での開発が海に悪影響を与えていることを教えていただき、「人と海のバランスを保つことが大切だ」と話し合いました。そして、そのために自分たちができることを考えました。

この活動については、1月に大牟田で行われた「海洋教育こどもサミット 2020in おおむた」や、2月に東京大学で行われた「全国海洋教育サミット」で発信しました。今後も、地域と協働した取組を進めていこうと考えています。



「海洋教育こどもサミット 2020in おおむた」で発表する子どもたち

地域探究の取り組み ありあけ新世高等学校



ありあけ新世高校では、地域の地理や歴史、世界遺産に関する学習を行っています。「世界遺産探究」の授業では、「世界遺産検定」に挑戦するとともに、各自が調べた世界遺産について発表を行いました。「有明学」の授業では、南筑後地域の歴史や文化、伝統や生活習慣について学習しています。先日はフィールドワークとして、柳川の川下りを体験しました。初めて体験した生徒がほとんどで、掘割の成り立ちや水環境の大切さ、観光への活用法などを学ぶことができました。今後は自ら見出した地域の課題の解決策を考え、発表していく予定です。



柳川の川下りを体験する様子